



▼いろいろな味のあられを試食しながらパッケージを考える白旗小5年生ら



## 白旗小児童が商品開発を体験

地域企業が小学生に特別授業

12月15日（火）白旗小学校で、米菓の製造などを手掛ける木村のあられ甲佐工場（芝原）の協力による特別授業が開催されました。

総合学習の一環として地域との交流や体験を通じた学びを模索する同小（前川和宏校長）が、子どもたちの食育に積極的に取り組む同工場に相談したのがきっかけ。

同工場としても初めての取り組みとなる商品開発の体験授業では、児童たちの案を基に試作されたあられ10品を同小の5年生15人が試食。いちご大福味やラムネ味のあられを班ごとに味見しながら、パッケージのラベルを考えました。

塩バター味が気に入ったという山下日向さん（辺場区）は「いろんな味のあられを食べられて楽しかったです」と笑顔。全校生徒や教員による投票で人気だったものは令和3年2月ごろに商品化され、同工場の直売所などで販売される予定です。

## 赤星眞照さんに瑞宝双光章

令和2年秋の叙勲

11月3日（火）令和2年秋の叙勲受章者が発表され、多年にわたり教育行政へ貢献された赤星眞照さん（有安区）が瑞宝双光章を受章しました。

春秋叙勲は、国への功労や社会の各分野において優れた行いのあった方などに対し、その功績や業績を国が表彰するもの。

12月16日（水）教育長室で蔵田教育長から伝達を受けた赤星さんは、本町の小中学校校長や教育長を歴任。長年取り組んだ教育の質の向上への貢献が認められ表彰されました。



▲蔵田教育長から叙勲の伝達を受けた赤星眞照さん



◀自分だけの門松づくりに取り組む児童たち

## 私だけの門松つくったよ！

乙女小まつやま塾

12月11日（金）乙女小学校で、乙女小まつやま塾が開催され、児童らがミニ門松づくりに挑戦しました。

同塾は、放課後に地域住民の参加協力を得て地域社会で子どもたちを育むことを目的に、町教育委員会が平成20年から主催に毎週水・金曜日に同小学校を中心に年間40回程度、活動を行っています。

参加した児童ら約20人は地域住民の指導の下、のこぎりを使って数人がかりで竹の輪切りに挑戦。準備された松や梅の枝や笹、ナンテンなどを組み合わせ、自分だけのお正月飾りづくりを楽しみました。

## 自然を楽しむ体験プログラム

### 緑川流域広域連携事業

12月12日（土）川平キャンプ場（広瀬）でブッシュクラフト体験イベントが開催されました。

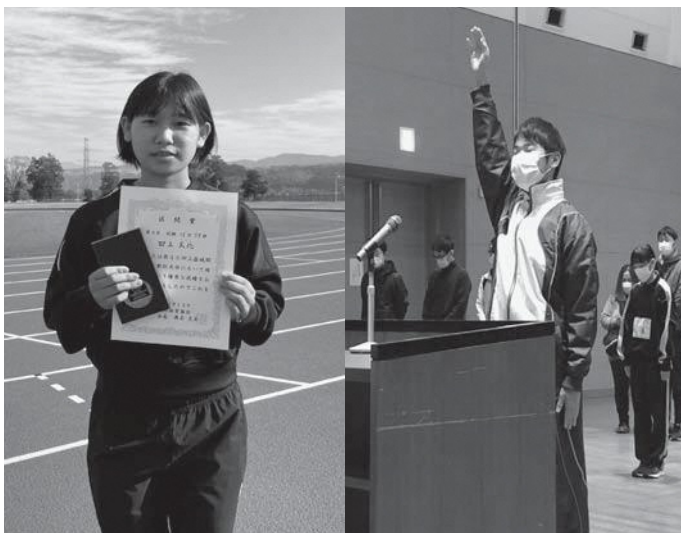
ブッシュクラフトとは、ナイフやロープなどの最低限の道具でアウトドアを楽しむサバイバル術のこと。緑川流域の豊かな自然を活用したさまざまな体験型プログラムを行っている緑川流域広域連携事業実行委員会（高田浩幸会長）が主催し、参加したソロキャンパー5人がナイフやロープの使い方を学びながら、自然を楽しむ技術を身に付けました。



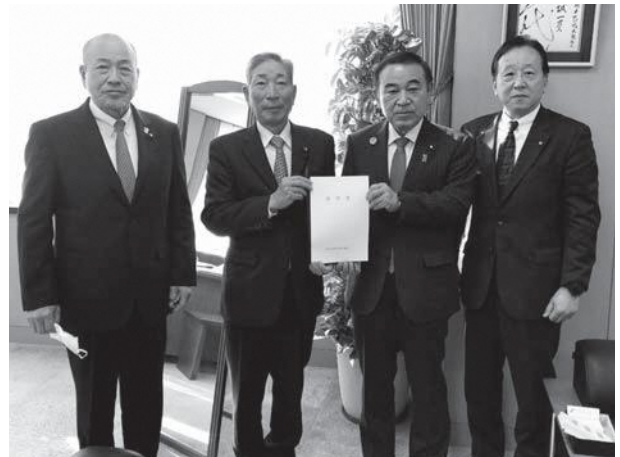
▲講師の説明を聞きながらロープの結び方を学ぶ参加者

## 冬の上益城を駆け抜ける

### 第45回上益城郡町対抗駅伝大会



▲大会に先立って町生涯学習センターで行われた結団式で選手宣誓を行う甲佐中2年の中村拓斗さん（右）と区間賞を受賞した田上美悠さん



▲坂本大臣に要望書を手渡す宮川町議会議長（中央左）

## 過疎地域振興の財政支援を国に要望

### 坂本内閣府特命担当大臣らに要望書を提出

12月7日（月）東京・霞が関で奥名克美町長や宮川安明町議会議長らが坂本哲志内閣府特命担当大臣などを訪問し、過疎地域自立促進特別措置法の失効に関する要望活動を行いました。人口減少や高齢化が著しい過疎の自治体を国が財政支援する同法が令和3年3月に失効するのに伴って、本町をはじめとする過疎自治体が支援を受けられなくなる恐れが出ているため。現行法の過疎市町村は、国が返済額の7割を肩代わりする仕組みの過疎債を医療・高齢者施設、インフラ整備などに活用。公共事業の補助率かさ上げなど手厚い支援を受けています。

12月13日（日）第45回上益城郡町対抗駅伝大会が開催されました。

上益城郡体育協会などが主催する同大会は、御船町役場前をスタートして益城町総合運動公園陸上競技場をフィニッシュとする8区間37.9㎞で競技が行われ、郡内の5町から男女混合5チームが出場し、冬の上益城を駆け抜けました。

本町からは、1区・嶋津温人さん（甲佐中1年・下横田区）、2区・内村潤さん（北熊本自衛隊・吉田区）、3区・一村聖連さん（大津高2年・仁田子区）、4区・田上美悠さん（開新高2年・上早川二区）、5区・稲葉眞白さん（甲佐中1年・仁田子区）、6区・高戸翔生さん（甲佐中2年・上田口区）、7区・本田平さん（九州運輸局・上早川二区）、8区・平崎隆誠さん（甲佐町役場）の8人の競技者が出場し、フィニッシュを目指してたすきをつなぎました。

4区（塔の木～甲佐高校付近）の3.3㎞を12分9秒で駆け抜けた田上美悠さんが区間賞を受賞し、表彰式で笑顔を見せました。